



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 株式会社アクトコール 上場取引所 東
 コード番号 6064 URL https://www.actcall.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福地 泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部本部長 (氏名) 鈴木 良助 TEL 03-5312-2303
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	1,205	—	135	—	114	—	61	—
2020年9月期第1四半期	1,190	9.6	225	36.4	204	46.2	174	54.7

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 74百万円 (—%) 2020年9月期第1四半期 166百万円 (43.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	5.46	5.46
2020年9月期第1四半期	21.19	20.43

(注) 2020年9月期より決算期を11月30日から9月30日に変更しております。これに伴い、2021年9月期第1四半期（2020年10月1日から2020年12月31日）は、比較対象となる2020年9月期第1四半期（2019年12月1日から2020年2月29日）とは対象期間が異なるため、2021年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	9,185	4,955	53.9
2020年9月期	9,533	4,895	51.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 4,946百万円 2020年9月期 4,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,892	—	787	—	709	—	446	—	39.68

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2020年9月期は決算期変更により10カ月決算となっております。そのため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 ー社 （社名） ー、除外 ー社 （社名） ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年9月期1Q	11,253,700株	2020年9月期	11,249,500株
② 期末自己株式数	1,071株	2020年9月期	1,071株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	11,252,081株	2020年9月期1Q	8,237,201株

2021年9月期1Q

11,253,700株

2020年9月期

11,249,500株

2021年9月期1Q

1,071株

2020年9月期

1,071株

2021年9月期1Q

11,252,081株

2020年9月期1Q

8,237,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年10月1日から2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が再び感染拡大局面になったことにより、外出自粛要請や営業時間の短縮要請がなされ、2021年1月には緊急事態宣言が発出されることにより、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、リモートでの営業や顧客対応のコールセンター運営を強化すること等により、主力事業である住生活関連総合アウトソーシング事業、決済ソリューション事業に当社グループの経営資源を集中させてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,205百万円、営業利益135百万円、経常利益114百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益61百万円となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(住生活関連総合アウトソーシング事業)

住生活関連総合アウトソーシング事業においては、緊急駆けつけ等会員制サービス、コールセンターサービスその他住生活に関わるサービスの開発、提供を行っております。

当社グループが市場とする不動産賃貸業界において“働き方改革”にはじまる企業の業務効率化やアウトソーシング需要が高まっていることにより、当第1四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により営業活動が制限される中、不動産業界向けの緊急駆けつけ等会員制サービスにおける新規獲得は堅調に推移いたしました。

一方で、コールセンターサービスの応答率の向上のための施策としてコールセンター外注費等を増加したため、売上原価は増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間末時点の累計有効会員数は、前連結会計年度末より増加し583千人となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は860百万円、営業利益は11百万円となりました。

(不動産総合ソリューション事業)

不動産総合ソリューション事業においては、サービスオフィス運営事業を譲渡し、保有する賃貸不動産を売却したことにより、前連結会計年度末をもって撤退しております。

(決済ソリューション事業)

決済ソリューション事業においては、不動産賃貸管理会社、不動産オーナー向けに、家賃の概算払いと出納業務を組み合わせた家賃収納代行サービス等を提供しております。

前連結会計年度に続き、コロナウイルス感染症の拡大の影響がある中、リモートでの営業の強化などによる保証会社との営業を強化するとともに、積極的に不動産会社へのアプローチを行いました。

この結果、売上高は345百万円、営業利益は129百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は9,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ347百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が508百万円減少、立替金が180百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は4,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ407百万円減少いたしました。これは主に、預り金が242百万円、未払法人税等が81百万円、借入金が49百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては、4,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加60百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、概ね想定どおりに推移していることから、通期業績予想に変更はありません。現時点では、新型コロナウイルス感染症による事業及び業績予想への影響は軽微と見ております。その影響につきましては、引き続き注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,364,319	4,855,534
売掛金	480,490	499,469
貯蔵品	288	343
立替金	1,616,354	1,797,211
未収入金	410,954	405,010
その他	139,506	130,476
貸倒引当金	△3,547	△3,217
流動資産合計	8,008,365	7,684,829
固定資産		
有形固定資産	72,620	66,977
無形固定資産		
のれん	86,819	78,775
ソフトウェア	236,730	235,094
無形固定資産合計	323,550	313,869
投資その他の資産		
その他	1,141,207	1,132,372
貸倒引当金	△15,173	△15,173
投資その他の資産合計	1,126,034	1,117,199
固定資産合計	1,522,204	1,498,046
繰延資産	2,615	2,319
資産合計	9,533,185	9,185,195

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	139,526	172,296
短期借入金	500,000	500,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	203,624	192,424
未払法人税等	113,220	32,106
リース債務	653	653
賞与引当金	27,635	22,325
預り金	2,179,415	1,937,241
前受収益	563,931	533,868
その他	388,617	366,595
流動負債合計	4,176,623	3,817,511
固定負債		
社債	80,000	70,000
長期借入金	373,208	334,871
リース債務	762	653
その他	7,411	7,116
固定負債合計	461,381	412,640
負債合計	4,638,005	4,230,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,884,636	1,885,264
資本剰余金	1,815,468	1,816,095
利益剰余金	1,130,427	1,191,317
自己株式	△424	△424
株主資本合計	4,830,107	4,892,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,177	54,476
その他の包括利益累計額合計	41,177	54,476
新株予約権	7,412	8,315
非支配株主持分	16,482	-
純資産合計	4,895,180	4,955,044
負債純資産合計	9,533,185	9,185,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,190,394	1,205,225
売上原価	612,094	733,128
売上総利益	578,299	472,097
販売費及び一般管理費	352,864	336,663
営業利益	225,435	135,434
営業外収益		
受取利息	180	140
助成金収入	18	—
保険解約返戻金	456	—
受取保険金	2,504	—
業務受託料	—	200
その他	255	187
営業外収益合計	3,415	527
営業外費用		
支払利息	10,244	7,433
持分法による投資損失	5,404	5,461
支払手数料	7,959	8,086
為替差損	38	—
その他	555	779
営業外費用合計	24,201	21,760
経常利益	204,648	114,201
特別利益		
投資有価証券売却益	21,522	—
その他	1,313	—
特別利益合計	22,836	—
特別損失		
固定資産除却損	2,219	—
特別損失合計	2,219	—
税金等調整前四半期純利益	225,265	114,201
法人税、住民税及び事業税	45,034	39,582
法人税等調整額	1,008	13,135
法人税等合計	46,042	52,718
四半期純利益	179,222	61,482
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,655	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,566	61,482

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	179,222	61,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,055	13,298
その他の包括利益合計	△13,055	13,298
四半期包括利益	166,167	74,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,511	74,781
非支配株主に係る四半期包括利益	4,655	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて、前事業年度の有価証券報告書(追加情報)に記載しました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	住生活関連総合アウトソーシング事業	不動産総合ソリューション事業	決済ソリューション事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	789,064	85,564	315,765	1,190,394	1,190,394
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	789,064	85,564	315,765	1,190,394	1,190,394
セグメント利益	108,965	10,520	109,986	229,472	229,472

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	229,472
セグメント間取引消去	26
全社費用(注)	△4,064
四半期連結損益計算書の営業利益	225,435

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	住生活関連総合アウトソーシング事業	決済ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	860,018	345,206	1,205,225	1,205,225
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	860,018	345,206	1,205,225	1,205,225
セグメント利益	11,054	129,689	140,743	140,743

(注) 前連結会計年度において、不動産総合ソリューション事業より撤退しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「不動産総合ソリューション事業」は、前連結会計年度において、賃貸不動産運営事業を事業譲渡し、保有する賃貸不動産を売却したことにより、当第1四半期連結会計期間より、当該セグメントを廃止しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	140,743
セグメント間取引消去	101
全社費用(注)	△5,410
四半期連結損益計算書の営業利益	135,434

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。